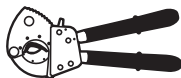


マルチラチェットケーブルカッター

取扱説明書

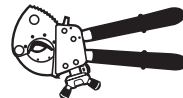
DRC-4000(スタンドなし)

・全長：440~600mm
・質量：3.4kg



DRC-4000S(スタンド付)

・全長：440~600mm
・質量：4.0kg



このたびは、マルチラチェットケーブルカッターをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、使用上の注意、本製品の能力、使用方法を確認のうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

ご使用前に必ず下記の注意事項をお読みください。

ご使用前に必ず、①ブレード板回転軸ナット、②ブレード固定ネジ(下記図1参照)がしっかり締まっているか確認してください。
ナット、ネジが緩んだ状態で使用すると、刃の欠けや割れ、本体の破損、損傷の原因となります。
ご使用前、または使用中定期的に確認してください。

警告

- 活線の切断は絶対にしないでください。感電の恐れがあります。
- ハンドルグリップは絶縁体ではありません。
- 刃部は鋭利になっていますので直接手指で触れないでください。
- 作業中、刃部やハンドルなどの可動部分に手指を挟まないように十分注意してください。

注意

- 適用電線、ワイヤー、サイズを超えるものは使用しないでください。
 - 使用前に本製品を確認し、異常がある場合は使用しないでください。
特に刃が破損、損傷している状態では工具本来の性能を発揮できません。
 - 作業時は周りの安全を確かめてから使用してください。
 - 刃部や可動刃、ハンドル部などに異物、切断物が付着している場合は取り除いてください。
本体の破損、損傷の原因となります。
 - 当社に無断で改造しないでください。
 - 定期的に可動部分に注油してください。
 - ハンドルにパイプ等を継ぎ足して使用しないでください。
 - 可動ブレードが切断物に噛み込み、ハンドルを動かしても進まなくなった場合、無理に切り進めると、ラチェット機構、刃の破損、損傷の原因となります。その場合、取扱説明書「使用方法」4.ブレードの解除内容通りに可動ブレードを解除してから、噛み込んだ切断物を取り除いてください。また、深く噛み込んでいる場合、ブレード板回転軸ナットを少し緩めることにより解除しやすくなります。
- ※ブレード板回転軸ナットを緩めた場合、再度使用するときは、必ずしっかりと締めてください。
緩めた状態で使用しますと刃の欠けや割れ、本体の破損、損傷の原因となります。

ご使用前の点検

必ずご使用前に、①ブレード板回転軸ナットと②ブレード固定ネジがしっかり締まっているかを確認してください。

①ブレード板回転軸ナット

ナットの対辺
S=17mm



②ブレード固定ネジ (表裏の8ヶ所)

六角棒レンチ
のサイズ
S=4mm

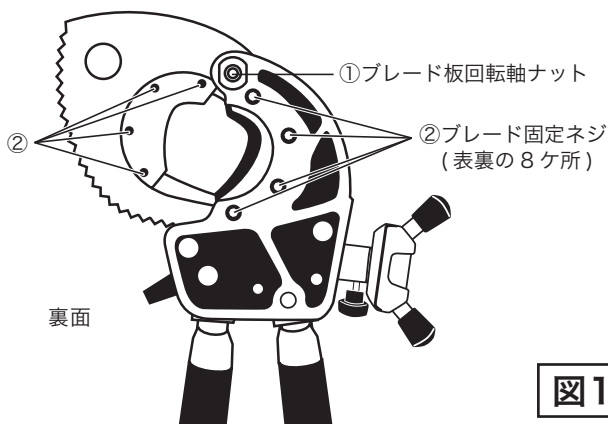


図1



注意

使用中でも定期的にネジ、ナットのゆるみを確認し、必ずしっかりと締まった状態*で、ご使用ください。

*ブレード板回転軸ナットは締め付けすぎると可動ブレードがスムーズに動かなくなるため、締め付け強さには注意してください。

刃の交換

刃はブレード固定ネジ(上記図1参照)をはずして交換できます。
交換後は上記「ご使用前の点検」を必ず行ってください。

替刃は、DRC-4000P(別売・2枚セット)をお買い求めください。

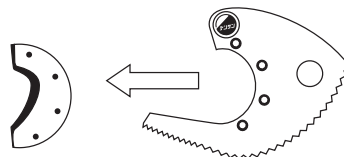


図2

特 長

- ワイヤーロープのような硬いものから、銅線のように柔らかいものまでこれ一台で切断可能
(※コシが弱い電線内の介在、細径のワイヤー、電線などは正しく切断できない場合があります。)
- 特殊合金鋼のブレード(刃)は交換可能
- ハンドルは伸縮自在。縮めるとコンパクトに収まり、持ち運びや収納に便利
- 切断中でもブレードを楽に解除できる
- スタンドを使用することにより、床に置いて安定して据え切りができる(DRC-4000Sのみ)

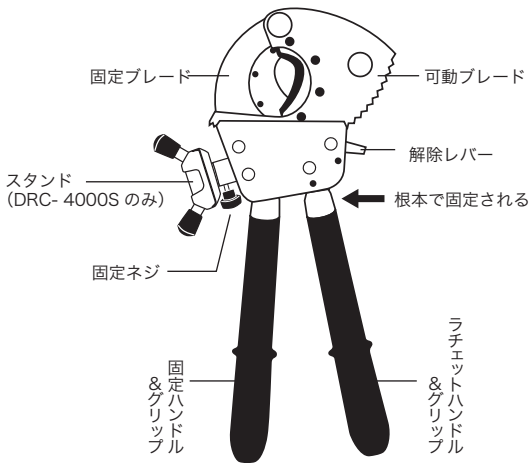
適 用

- 600mm²以下の銅線
 - 24φ以下のスチールワイヤーロープ
 - 38mm²以下のメッセンジャーワイヤー
 - 16φ以下の鉄棒※(軟鉄)
- ※ステンレス棒使用不可

使用方法

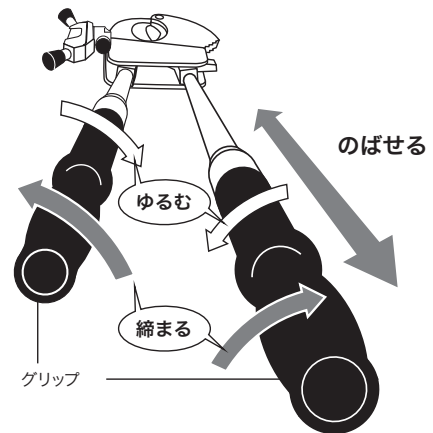
1. 各部名称・収納時

ラチェットハンドルは、グリップを根本まで縮めると固定します。収納時は必ずラチェットハンドルが動かないように固定してください。



2. ハンドルの伸縮

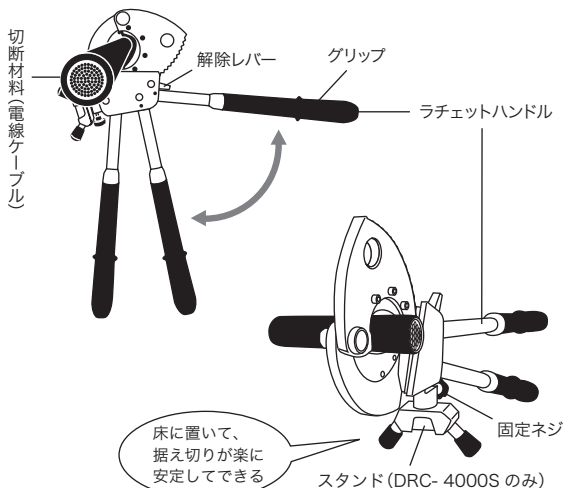
両ハンドルは伸縮自在です。グリップを内側に回すとゆるみ、引っぱるとグリップが動き、ハンドルが伸びます。グリップを外側に回すと締まり、ハンドル長が固定されます。



注意：グリップを固定する際、回しすぎると破損しますので注意してください。

3. 使用時

ハンドルのグリップは適当な位置まで伸ばし、必ず根本から離してお使いください。(下記注意参照のこと)
切断材料を両ブレードで挟みこみ、グリップをしっかり保持し、ラチェットハンドルを動かして切断します。
DRC-4000Sの場合：スタンドを90回転させ、固定ネジで固定し、床に置いて作業すると安定します。



注意：ラチェットハンドルを短い状態で使用されますと、解除レバーにグリップが当たり、解除される場合があります。事故や怪我の原因となりますので十分注意してください。

4. ブレードの解除

使用中に可動ブレードを解除する時は、ラチェットハンドルのグリップを根本近くまで縮めてください。(根本まで縮めると固定されて動かないのでご注意ください) グリップで解除レバーを押し上げた状態で、可動ブレードを動かします。

